

日本中小型株ファンド

<愛称 発掘名人>

追加型投信／国内／株式

交付運用報告書

第9期(決算日2026年6月1日)

作成対象期間(2025年5月31日～2026年6月1日)

第9期末(2026年6月1日)	
基準価額	23,903円
純資産総額	4,929百万円
第9期	
騰落率	56.7%
分配金(税込み)合計	50円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「日本中小型株ファンド」は2026年6月1日に第9期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、主として「日本中小型株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式のうち中小型株式に投資し、中長期的な値上がり益の獲得を目指し運用を行いました。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセスし、ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択
⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。



ちばぎんアセットマネジメント

東京都墨田区江東橋2丁目13番7号

<照会先>

電話番号：03-5638-1451

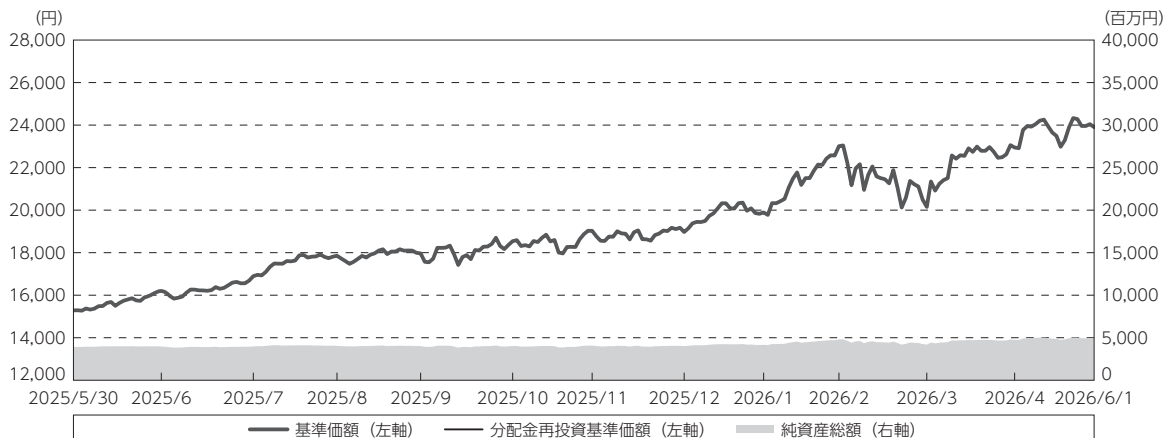
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

ホームページ：https://www.chibagin-am.co.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年5月31日～2026年6月1日)



期 首：15,287円

期 末：23,903円 (既払分配金(税込み)：50円)

騰落率： 56.7% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年5月30日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、当期末において23,903円となり、期首比56.7%（信託報酬控除後、分配金再投資ベース）の上昇となりました。なお、期中に分配金50円（税込み）をお支払いしました。

(プラス要因)

- ・米国の関税政策への懸念後退および日米間の関税交渉合意
- ・AI・半導体関連企業の業績伸長および成長期待の高まり
- ・高市新政権による財政拡張的な政策への期待と、衆議院選挙での与党大勝を背景とした株高
- ・米国とイランの戦闘終結期待の高まり

(マイナス要因)

- ・米国とイスラエルによるイラン攻撃とそれに伴う原油価格の高騰
- ・インフレ懸念などを背景とした日米の金利上昇
- ・AIによる企業の業務代替懸念の高まり

1万口当たりの費用明細

(2025年5月31日～2026年6月1日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	307	1.593	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(149)	(0.774)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(149)	(0.774)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(9)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	47	0.242	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(47)	(0.242)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.005	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	355	1.840	
期中の平均基準価額は、19,291円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

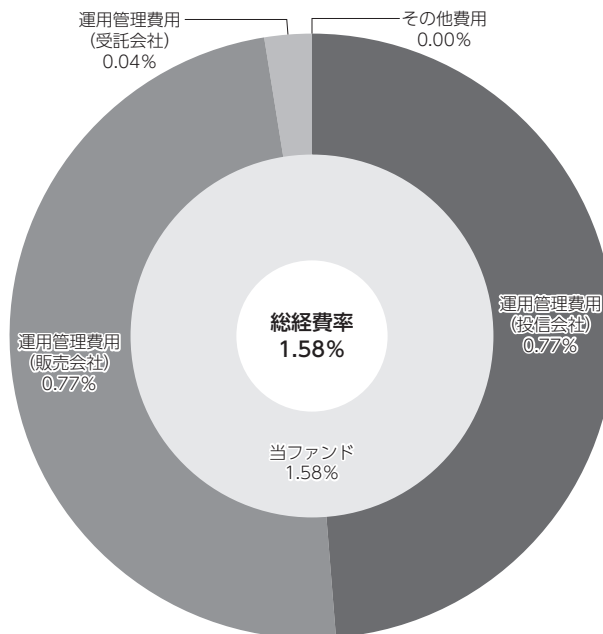
(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年5月31日～2026年6月1日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2021年5月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年5月31日 決算日	2022年5月30日 決算日	2023年5月30日 決算日	2024年5月30日 決算日	2025年5月30日 決算日	2026年6月1日 決算日
基準価額 (円)	15,304	13,223	14,688	14,924	15,287	23,903
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	20	0	0	50
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 13.6	11.2	1.6	2.4	56.7
純資産総額 (百万円)	4,394	3,741	4,077	4,183	3,926	4,929

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境

(2025年5月31日～2026年6月1日)

国内株式市場は前期末比で上昇しました。期初から2025年7月下旬にかけては、米国の関税政策を巡る懸念の後退や米連邦準備制度理事会（FRB）による年内利下げ再開観測の強まり、米ハイテク株高、日米間の関税交渉合意などを背景に上昇しました。10月下旬にかけては、米中両政府による関税措置停止期間の延長や米国の利下げ観測の高まり、高市新政権による財政拡張的な政策への期待、AI関連投資の拡大への期待などから一段高となり、日経平均株価は一時52,400円台まで上昇しました。12月中旬にかけては、AI・半導体関連株に対する高値警戒感や、台湾を巡る日中間の摩擦への警戒感、日銀の利上げ観測の高まりなどが重荷となり下落しましたが、2026年1月中旬にかけては、米国株式市場の上昇や米国の利下げ期待の高まり、高市首相による衆議院解散観測の強まりなどが追い風となり、上昇しました。その後、グリーンランドの領有を巡る米欧間の緊張の高まりなどから下落する局面もありましたが、2月下旬にかけては衆議院選挙での与党大勝による政治基盤強化への期待などを背景に一段高となり、日経平均株価は一時59,300円台まで上昇しました。3月下旬にかけては、米国とイスラエルによるイラン攻撃や原油価格の高騰などを受けてリスク回避の売りが強まり、日経平均株価は一時50,500円台まで下落しました。その後、5月中旬にかけては米国とイランの戦闘終結に対する期待の高まりや米ハイテク株の上昇に加え、AI・半導体関連株や好業績を発表した銘柄への物色が活発化するなかで、日経平均株価は一時63,700円台まで上昇しました。その後、これまでの上昇による高値警戒感や日米長期金利の上昇に対する警戒感などから利益確定売りが広がる局面も見られたものの、期末にかけては、米国とイランの和平合意への期待やAI・半導体関連株の上昇などを背景に日経平均株価は史上最高値を更新し、66,900円台で期を終えました。

中小型株式市場については、東証スタンダード市場や東証グロース市場の銘柄群が東証株価指数（TOPIX）などに対して劣後しました。物色面では、日銀の利上げや中東情勢の悪化を受けたインフレ懸念などを背景とした長期金利の上昇、資源価格の上昇や外国為替市場における円安米ドル高の進行などを背景に、金融や資源関連、外需を中心とした小型バリュー株が優位となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年5月31日～2026年6月1日)

(当ファンド)

当ファンドは、「日本中小型株マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

(日本中小型株マザーファンド)

当ファンドは、国内上場株式のうち中小型株に投資し、中長期的な値上がり益の獲得を目指しています。個別銘柄の選定およびポートフォリオは、個別企業の調査や分析などを中心とした「ボトムアップ・アプローチ」に基づいた定量面や定性面での分析により、ビジネスモデルや成長性、収益性、競争優位性などがもたらす中長期的な成長可能性を見極めながら構築しました。また、短期的な業績変化の兆しを重視した組入比率決定とリスクコントロールを組み合わせて行っています。

業種配分については、生成AI・半導体分野における投資加速や半導体市況の上昇などの恩恵が期待される基板や材料、製造装置などを手掛ける企業群を中心とした「電気機器」や「化学」、国策として推進される宇宙分野や高成長を期待するITサービス関連などを中心に「情報・通信業」などのウエイトを高位に維持しました。

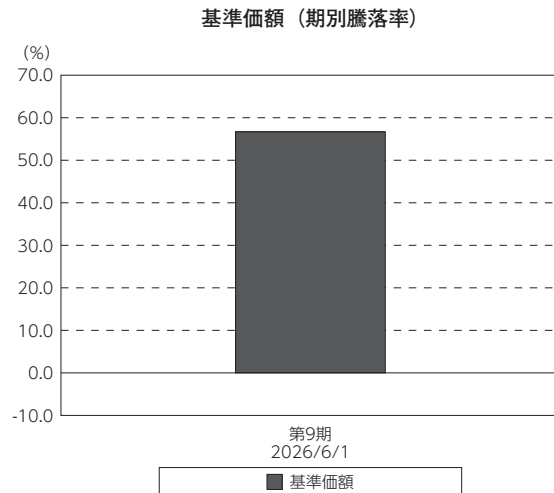
銘柄選択では、生成AI関連投資の加速を背景とした市場成長の恩恵が期待される半導体関連の銘柄群や、国家支援の恩恵を受ける防衛・宇宙分野に関連する銘柄群などを組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年5月31日～2026年6月1日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けていません。

右記グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2025年5月31日～2026年6月1日)

分配金額は、経費控除後の配当等収益、基準価額水準などを勘案し、1万口当たり50円（税込み）としました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第9期
	2025年5月31日～ 2026年6月1日
当期分配金	50
(対基準価額比率)	0.209%
当期の収益	50
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,903

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「日本中小型株マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行います。

（日本中小型株マザーファンド）

中東における米国とイランの対立を巡る不透明感は依然として続いているものの、和平合意への期待や生成AI・半導体関連銘柄の上昇などを背景に日経平均株価が史上最高値を更新するなど、国内株式市場は堅調な推移を見せています。中東情勢については引き続き予断を許さない状況であり、今後は原油高やサプライチェーンの目詰まりがもたらすインフレを背景とした金利上昇や企業業績への悪影響が想定され、過度な楽観を持つことなく状況を注視しています。

業績面では、国内の小型株については、足元までの動向は全般的に堅調さが見られるものの、今年度計画においては中東情勢の悪影響は織り込みきれおらず、先行きの不透明感が高まっています。各企業が有する競争優位性や価格決定力といった力が試される局面が到来しており、今後想定されるインフレの影響とその対応力を見極めていくことが必要です。企業間の格差が生まれやすい環境下においては、ボトムアップアプローチによる銘柄選別の効果が発揮できると考えています。

現在着目している観点は、生成AI・半導体分野の投資加速や技術進化、データセンター増設やデジタル化の進展などを背景とした電力需要の増加、気候変動によりもたらされる災害やインフラ老朽化への対策強化の流れ、半導体や防衛、造船や宇宙産業への国の支援、各社の企業価値向上に向けた取り組みの進展などです。

経営陣への取材などを通じた「定量面」「定性面」での分析をもとに、短期的な業績の変化の兆しを捉えつつ、企業の「ビジネスモデル」「成長性」「収益性」「競争優位性」などがもたらす本質的な成長性を見極め、長期的に企業価値の向上が期待できる銘柄の発掘に最善を尽くしてまいります。

お知らせ

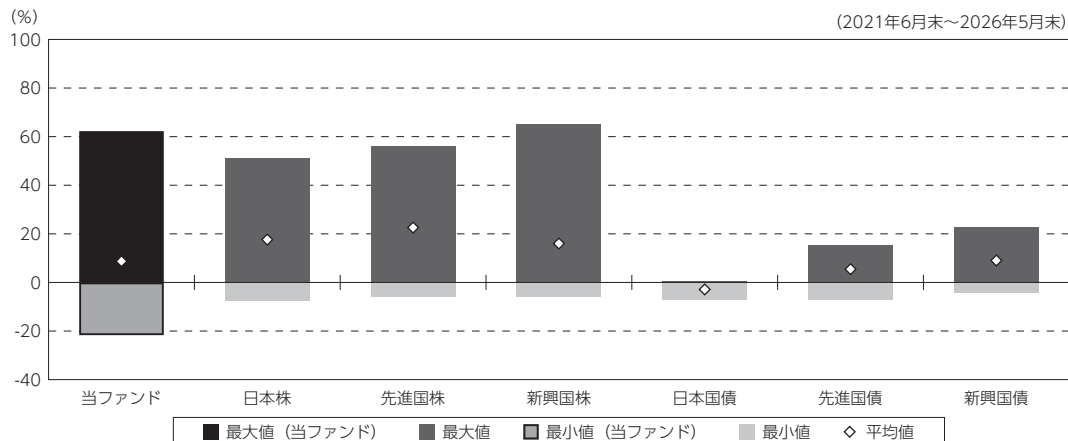
- 「一般社団法人投資信託協会」は、2026年4月1日付で「一般社団法人日本投資顧問業協会」と合併し、名称を「一般社団法人資産運用業協会」に変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更日：2026年4月1日)
- 当社の電子公告のアドレス変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更日：2026年4月1日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式	
信 託 期 間	2017年7月31日から無期限です。	
運 用 方 針	信託財産の成長を目標に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	日本中小型株ファンド	「日本中小型株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	日本中小型株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）のうち中小型株式を主要投資対象とします。
運 用 方 法	主として「日本中小型株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）のうち中小型株式に投資し、中長期的な値上がり益の獲得を目指し運用を行います。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等のうちから、基準価額水準等を勘案して、分配を行う方針です。 ただし、分配対象金額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 収益分配に充てなかった留保益については、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	62.3	51.0	55.9	65.1	0.6	15.4	22.7
最小値	△ 21.7	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	8.7	17.6	22.6	16.0	△ 2.9	5.5	9.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年6月から2026年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：Morningstar 日本株式指数

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株：Morningstar 新興国株式指数

日本国債：Morningstar 日本国債指数

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年6月1日現在)

○組入上位ファンド

銘 柄 名	第9期末
日本中小型株マザーファンド	% 100.0
組入銘柄数	1銘柄

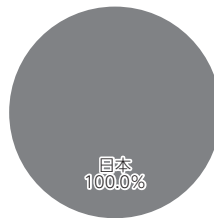
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

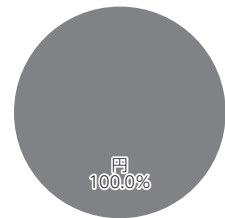
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

純資産等

項 目	第9期末
	2026年6月1日
純 資 産 総 額	4,929,166,502円
受 益 権 総 口 数	2,062,146,437口
1万口当たり基準価額	23,903円

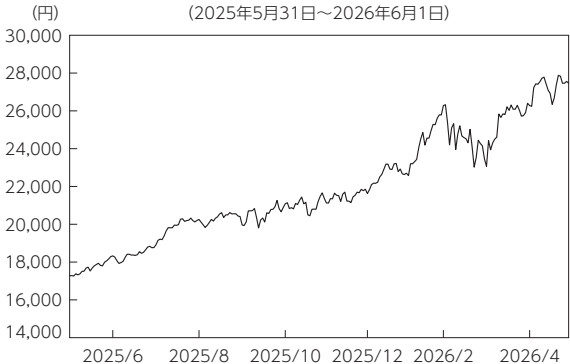
(注) 期中における追加設定元本額は101,439,264円、同解約元本額は607,581,678円です。

組入上位ファンドの概要

日本中小型株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年5月31日～2026年6月1日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年5月31日～2026年6月1日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	52 (52)	0.237 (0.237)
合 計	52	0.237
期中の平均基準価額は、21,974円です。		

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

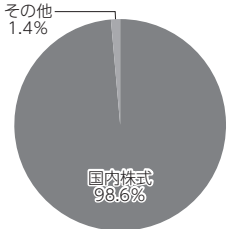
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率 %
1	明電舎	電気機器	円	日本	2.0
2	ダイヘン	電気機器	円	日本	1.7
3	BuySell Technologies	卸売業	円	日本	1.7
4	四国化成ホールディングス	化学	円	日本	1.6
5	前田工織	その他製品	円	日本	1.5
6	バルカー	化学	円	日本	1.4
7	三機工業	建設業	円	日本	1.4
8	長瀬産業	卸売業	円	日本	1.3
9	東光高岳	電気機器	円	日本	1.3
10	シンプレクス・ホールディングス	情報・通信業	円	日本	1.3
組入銘柄数		129銘柄			

(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

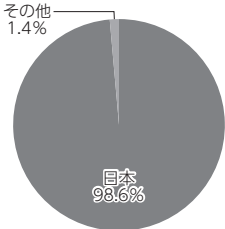
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注3) 国（地域）につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

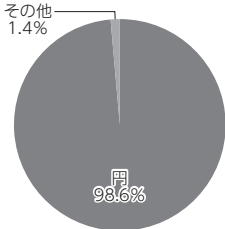
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2026年6月1日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- ・日本株

Morningstar 日本株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

- ・先進国株

Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

- ・新興国株

Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

- ・日本国債

Morningstar 日本国債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

- ・先進国債

Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

- ・新興国債

Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、新興国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターンの指数です。

＜重要事項＞

当ファンドは、Morningstar,Inc.、またはモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar,Inc.の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の可否、特に当ファンドに投資することの可否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstar インデックス」と言います）の能力について、当ファンドの受益者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「委託会社」と言います）とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマークおよびサービス名並びに特定のMorningstar インデックスの使用の許諾であり、Morningstar インデックスは、Morningstarグループが委託会社または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstar インデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、委託会社または当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および／または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者もしくはユーザー、またはその他の人もしくは法人が、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。